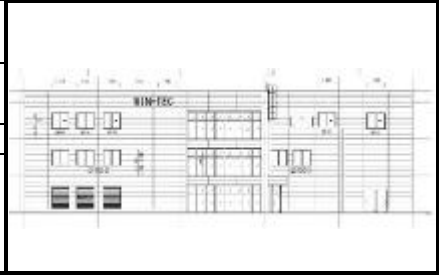


# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウィンテック工場新築工事	階数	地上3F
建設地	東大阪市加納四丁目4番1、15	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年5月25日
敷地面積	2,147 m <sup>2</sup>	作成者	(株)エネ・グリーン 松本拓也
建築面積	1,198 m <sup>2</sup>	確認日	2016年5月26日
延床面積	2,803 m <sup>2</sup>	確認者	(株)エネ・グリーン 定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.5
空気質環境	2.5

##### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.2)

機能性	3.0
耐用性	3.3
対応性	3.4

##### Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.7)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.6)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

##### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

##### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

地球温暖化	3.6
地域環境	3.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内環境、サービス性能への配慮を行う・敷地内環境及び、敷地外環境への配慮を行う・エネルギー性能の向上、資源、マテリアルの確保に努めている</li> </ul>	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い昼光率の確保・事務エリアは高い照度を確保・内装材には、F☆☆☆☆又は告示対象外品を採用し、空気室環境に配慮・建築物衛生法の1.4倍以上の、換気量を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井高を確保し、広さ感に配慮・リフレッシュスペースの確保・耐用年数の長い仕上材、部材の採用・階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20%を超える外構緑化指数の確保・テラスの設置、メッシュフェンスの設置</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能断熱材の採用で、建物の熱負荷抑制に配慮している・LED照明等の高効率設備機器の採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動水栓に加え、節水型便器の採用で建物の節水性能に配慮・解体時における建物のリサイクル性に配慮・防水工事のプライマー等の採用で、科学物質の使用削減に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼設備の採用無しで、大気汚染防止に配慮している・光害対策チェックリスト、広告物照明の扱い配慮事項の過半を満たすなど、光害の抑制に努めている</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0040

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	ウィンテック工場新築工事					
		建設地	東大阪市加納四丁目4番1、15					
		用途/区分	事務所 工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4			
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない			報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								